

「^お上山^ろ城」からのたより 初春・第108便

上山城周辺 戊辰戦争史跡めぐり

今年は戊辰戦争発生から一五〇年の節目を迎えます。今回はその節目にちなみ、上山城周辺の戊辰戦争関連史跡を二ヶ所ご紹介します。

①法円寺（所在地：上山市栄町）

奥羽越列藩同盟結成を翌月に控えた慶應四（一八六八）年閏四月下旬、上山藩領には数百に及ぶ仙台・米沢の藩兵が駐屯し往來の警備に当たっていました。その両藩兵に提供する食事の調理場となったのが法円寺でした。そのとき寺の境内は「士卒并に町役人及び人足の者共詰寄り居て其混雑甚し（兵隊や町役人など大勢の人が集まり大変混雑した）」と、調理する人・食事をとる人で足の踏み場も無いほどごった返していたとの記録が残っています。【参照：上山市史編集資料一八『上山見聞随筆上』、昭和五一年二月刊行一五一頁】

②鶴の休み石付近（所在地：上山市湯町）

東北での戦闘終結後の明治元（一八六八）年十月二八日、西へ帰還する奥羽鎮撫軍（官軍）は、その途中、上山に立ち寄り宿泊しています。その際、同軍総督九条道孝は「温泉湯元御一覽（温泉の源泉見学）」のため「温泉出口（鶴の休み石付近）」



現在の鶴の休み石付近の様子

を訪れ、そこで「石一つ御持参（石を一つ拾って）」し帰ったとされています。

ちなみに、そのとき九条が通ったルートは御本陣（九条の宿泊場所・現しまづ旅館（住所：上山市十日町）か？）↓鏡橋（現観音寺付近（住所：上山市十日町））↓湯町（鶴の休み石所在地）↓仲丁（現藩校明新館跡付近（住所：上山市鶴脛町））↓沢丁（現あずま屋旅館附近（住所：上山市新湯））↓御本陣となります。このルートを辿り、かつ、鶴の休み石付近で石を拾えば、奥羽鎮撫軍総督九条道孝の気分が味わえるかもしれません。

【参照：前出『上山見聞随筆上』二〇・二二頁】

これら二つのスポットは上山城のほど近くに位置しています。城周辺の散歩ついでに戊辰戦争の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか？

（公財）上山城郷土資料館 学芸員 長 南 伸 治

【常設展示室から】今月六日までクイズ上山城探検を開催しています。全問正解者には抽選で豪華賞品が当たります。